

ブラジルで所有データ調査を実施

ブラジルで新しく設立された生物多様性情報システム SiBBR では、国内の 200 を超える機関が所有する生物多様性・生態系データの調査を開始しました。

ウェブサイト (www.sibbr.gov.br) を介してオンラインで行われるこの調査では、大学、研究センター等の学術機関が有するインフォマティクスに関するインフラストラクチャーについても検討を行い、システムの協力機関となる可能性を調べることであります。



SiBBR では、多種多様な情報源から得られる生物多様性・生態系データを統合し、ブラジルにおける研究活動や政策決定に役立てることを目指しています。SiBBR の主要協力機関である国立計算科学研究所 (LNCC) は、GBIF ナショナルノードを運営しています。

[全記事はこちら](#)から読むことができます。

科学と政策

GBIF を介したデータの活用状況については、通常通り『GBits Science Supplement』に要約が報告されており、[こちら](#)からダウンロード可能です。最新号では、アレルギー誘発性が強い侵入植物種のヨーロッパにおける分布予想を行った研究、気候変動がイギリス海域の絶滅危惧魚類に及ぼす影響を調べた研究やメキシコにおける希少鳥類の棲息範囲をモデル化した論文などが取り上げられています。

科学と政策 1

技術向上に向けた取り組み 2

GBIF 日本ノードがインドネシア・ノードにデータ公表方法を指導

南アフリカで生物多様性インフォマティクス技術を向上

GBIF ネットワーク内外の活動 2

藻類・原生動物のポータルサイト発足 ALA がマッピング・ツール FishMap を発表

GBIF スペインのホームページにデータ総括機能が登載

新規データ 3

コロンビア
台湾
オランダ
スペイン
ノルウェー
イギリス
アメリカ
カナダ

インフォマティクス 4

BIF プラットフォームのモニター・ユーザー募集中

今後のイベント予定 4

会議とワークショップ
トレーニングイベント

技術向上に向けた取り組み

GBIF 日本ノードがインドネシア・ノードにデータ公表方法を指導

GBIF 日本ノードでは、インドネシアの省庁・研究機関の専門家を対象とした訓練セミナーを開催し、インドネシア国内にある生物多様性データの活用方法を教授しました。

インドネシアのチビノンで2月に開催された生物多様性データの統合的管理に関するセミナーでは、GBIFのインフラストラクチャー、ツールや規格の紹介が行われ、農業省、国家開発庁、研究技術省の他、GBIFインドネシア・ノードの運営母体であるインドネシア科学院 (LIPI) 傘下の様々な研究センターから70名の参加者がいました。

本セミナーは、GBIF 日本ノードが実施するメンタリング・プロジェクトの一環として実施されました。このプロジェクトは、LIPIがインドネシアの生物多様性データを管理するためのネットワークを構築するための支援を行うことを目的としており、2012年度GBIFメンタリング・プログラムとして承認された3プロジェクトの一つです。メンタリング・プログラムでは、GBIF参加ノード間で専門的知識・技能に関する協力・支援が行われます。

南アフリカで生物多様性インフォマティクス技術を向上

南アフリカでは、新たな協力関係が結ばれ、南ア地域における生物多様性情報を管理するために必要となる技術を高める活動が開始します。

GBIF ナショナルノードを運営する南アフリカ国立生物多様性研究所 (SANBI) は、西ケープ大学 (UWC) と覚書を締結し、生物多様性情報の管理を行う大学院レベルの研究拠点設立に向けた協力を開始することとしました。

この覚書は、南アフリカに中核的研究拠点を設立するという長期的目標の実現に向けた第一歩となります。南アフリカ諸国では、生物多様性に対する理解を深めるとともにモニタリングを行う努力を重ねているものの、未だ生物多様性の分野における研究が不十分であり技能を向上する必要があることから、中核的研究拠点の必要性が叫ばれています。

協力関係から生まれた成果として、2名の博士研究員ポストが開始されます。両ポストとも、SANBIが資金提供を行い、UWCに配属されます。

アフリカ諸国のGBIFノードでは、優先度の高い研究テーマを特定するとともに、生物多様性情報管理のカリキュラムを策定することがアフリカ地域における重要課題であると認識しており、4月16~18日に開催されるアフリカ地域会議の主要な討議事項となっています。

GBIF ネットワーク内外の活動

藻類・原生動物のポータルサイト発足

GBIF ドイツ・ノードを運営するベルリン・ダーレム植物園・植物博物館 (BGBM) では、藻類及び原生動物に特化したポータルサイトを新たに開設しました。

このポータルサイトでは、BioCAsE (生物学コレクション・アクセスサービス) ポータルソフトを用いて、GBIF ネットワークを通して公表されている740万件の観察・標本記録にアクセスすることができます。記録には、GBIFデータのポータルサイトで現在公開されていない画像等の情報が追加されており、内容的に充実したものとなっています。

光合成を行う藻類や従属栄養性原生動物は、生態系や生物の生息環境において重要な位置を占めています。このような生物には、土壌や湖沼中の微小生物から海藻までの範囲が含まれ、分類学、形態学や生活型の観点から見て多岐にわたっています。

このポータルサイトは、ドイツ連邦教育研究省の資金提供により設立されました。このサイトは <http://protists.gbif.de/protists/> からアクセスできます。

詳細は、gbif-d@bgbm.org までお問い合わせください。

ALA がマッピング・ツール FishMap を発表

オーストラリアのGBIFノードであるアトラス・オブ・リビング・オーストラリア (ALA) が2月に発表したFishMapにより、オーストラリア近海に棲息する海水魚種が手に取るように分かります。

FishMapは、無料のオンライン・マッピング・ツールで、どのような魚がオーストラリア大陸棚や大陸斜面のどの場所や深度に棲息しているかを知ることができます。地域を指定して、そこに棲息する魚種のリストを作成することができ、リストには、写真やイラスト、分布地図、学術名や一般名が記載されます。

このツールにより、320種のサメやエイを含む4500種を超える魚種に関して、精緻な画像と共に、棲息地域や深度の範囲に関し専門家による情報を知ることができます。

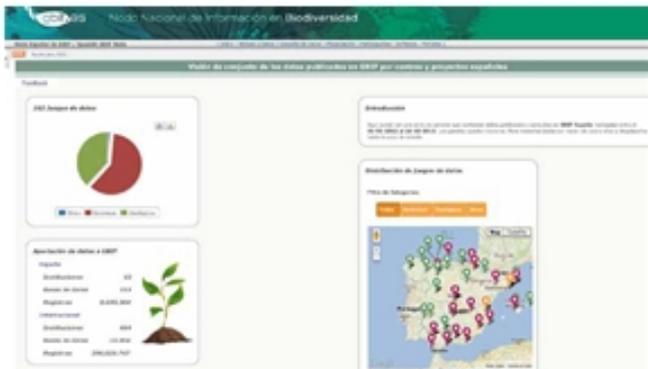


FishMapに登録されているユメアンコウ属の一種 (*Oneirodes sabex*)

FishMapは、<http://fish.ala.org.au> からアクセスできます。



情報ダッシュボードをつかった GBIF スペインのデータ集約



GBIF スペインのホームページが改定され、スペイン国内にある研究機関から公開されている生物多様性データの要約が一目で分かるようになりました。[ダッシュボード機能](#)により、主要なデータ公表機関名、データ件数、データ採取場所の他データ公開や利用目的の傾向などが分かります。

新規データ

コロンビア

前号の GBits 発行以降、コロンビアの 7 機関から、約 100,000 件のデータを含む 25 の生物多様性データセットが公開されました。

これらのデータセットには、以下のデータが含まれています。

- ・ コーヒー農園で調査した[アリ](#)、[鳥類](#)及び[植物](#)のデータ (コロンビア・全国コーヒー生産者連盟発行)。
- ・ 2 発電所の周辺に棲息する動物の分布 ([イサヘン](#)電力会社発行)
- ・ コロンビア第 3 の規模を誇る大学であるバジェ大学が所有する昆虫コレクションに含まれる 3 万を超える[昆虫データ](#)
- ・ コロンビア・アントキア県の天然資源を管理する団体である[コラントキア](#)が調査したシダ類及び動物のデータ
- ・ ボゴタにある[ラサル大学](#)所有コレクションに含まれるは虫類、両生類及び植物のデータ。

台湾

GBIF 台湾ノード (TaiBIF) では、4 年に及ぶ周辺海域調査から、600 種を超える魚類データを公表しました。

この調査は、この地域における底棲魚の研究としては最大級のものであり、2000 年から 2003 年の間にトロール網で捕獲された魚類のデータが集積されました。この調査は、海岸線から 3 海里以内のトロール漁法が 1989 年以降禁止されたことによる影響を調べることを目的とし、トロール網で捕獲した魚類の数を調べるとともに体重測定が行われました。

このデータセットには、631 種 3529 件の魚類データが含まれており、『ZooKeys』誌に論文として発表されました。調査に携わった研究者は、論文の原稿執筆と同時に GBIF のデータ公開ソフトウェアを用いてメタデータの作成も行っています。

論文は、

<http://www.pensoft.net/journals/zookeys/article/3032/abstract/a-dataset-from-bottom-trawl-survey-around-taiwan> から入手できます。データについては、GBIF ポータルサイト

(<http://data.gbif.org/datasets/resource/14682/>) から閲覧可能です。

オランダ

ライデンにある[ナチュラリス生物多様性センター](#)は、世界第 5 の規模を誇る自然史博物館ですが、軟体動物、甲虫類、ガ、チョウ、ハチ、アリに関する 100 万件近いデータを公開しました。データは、博物館所蔵の標本に関するものです。

スペイン

GBIF スペインノードでは、1997 年から 2006 年にかけて環境田園海洋省が実施した第 3 回全国森林調査 (IFN3) から、[50 万件を超える地理参照植物データ](#) を発表しました。データには、スペイン本土、バレアス諸島及びカナリア諸島を対象とした野外調査により特定された 326 種の植物が含まれています。

ノルウェー

ノルウェー自然科学研究所では、国内に棲息する水生甲虫、ミジンコ、プランクトン及び軟体動物を始めとする[1100 種の水生動物について 87,000 件を超えるデータ](#) を公開しました。

イギリス

GBIF イギリスノードであるイギリス国家生物多様性ネットワークでは、25,000 件のデータからなる 18 データセットを公開しました。データの大部分は、実地調査によるものであり、コケ、植物、[ガ](#)、[テントウムシ](#)、[バッタ](#)、[コオロギ](#)、[キジ](#)、[ミズハタネズミ](#)、[カワソノ](#)の他、[北ウェールズのバラ湖にしか棲息していない淡水魚グウィニアド \(gwyniad\)](#) に関するデータがあります。

アメリカ

カンザス州にあるエンポリア州立大学は、所有する植物標本のうち[17,000 件を超える北米植物種のデータ](#) を公開しました。植物コレクションは、地域に自生する植物に特化しており、フリント・ヒルズに残されたトールグラス・プレーリー (背の高い草が茂る草原) に関連した植物種が多く保存されています。データは、VertNet データネットワークにより公開されています。

カナダ

モントリオールにあるマギル大学では、ライマン昆虫博物館に所蔵する**昆虫及びビクモに関する 25 万件以上のデータ**を公表しました。データは、カナデンシス・データ・ネットワークを通して公開されています。

インフォマティクス

GBIF プラットフォームのモニター・ユーザー募集中

生物多様性インフォマティクス用語集の共同開発・維持を目的としたプラットフォームの試作版が公開され、この試作版の使用感などを報告してくれるモニターが求められています。

この GBIF 用語プラットフォーム

(<http://terms.gbif.org>) は、ウィキペディアのために作られたメディアウィキ ([MediaWiki](#)) というオープンソース・ウィキソフト上で作動し、セマンティック・メディアウィキ ([Semantic MediaWiki](#)) と呼ばれる拡張機能を用いています。この機能により、データ項目のタグ付けを行い、ウィキページ内での検索が可能になります。

試作版には、現在ダーウィン・コア及びオーデュボン・コアを始めとした**用語**が入っています。使いやすさ、利便性、改善点などのフィードバックが求められており、このプラットフォームを使ってみた印象や感想を GBIF コミュニティーサイトのページ ([community.gbif.org](#)) から送るようになっています。

プラットフォームを編集したい場合には、GBIF コミュニティーサイトで先ずアカウントを作成します。その後、各ウィキページに関連した話題について直接コメントすることができます。

用語プラットフォームの開発は、欧州連合 [ViBRANT](#) プロジェクトの資金提供により、GBIF がベルリンにあるユリウス・キューン研究所と共同して行っています。

詳細を問い合わせたい場合やフィードバックを送る場合には以下の担当者に連絡してください。

Éamonn Ó Tuama (eotuama@gbif.org)

Dag Endresen (dag.endresen@nhm.uio.no)

Gregor Hagedorn (g.m.hagedorn@gmail.com)

今後のイベント予定

会議とワークショップ

アフリカ地域ノード会議

2013 年 4 月 16~18 日、南アフリカ、プレトリア

OpenUp! 第 2 回年次総会

2013 年 4 月 24~26 日、チェコ共和国、プラハ
詳細は、[こちら](#)。

Pro-iBiosphere 会議

2013 年 5 月 21~23 日、ドイツ、ベルリン
詳細は、[こちら](#)。

トレーニングイベント

I3B 主催環境保全のための生物多様性情報ワークショップ

2013 年 4 月 15~18 日、コスタリカ、サラピキ
詳細は、[こちら](#)。

RMCA 主催 2013 年生物多様性情報訓練コース

2013 年 6 月 3~28 日、ベルギー、テルビュレン
詳細は、[こちら](#)。

VertNet 第 2 回生物多様性インフォマティクス訓練ワークショップ

2013 年 6 月 24~28 日、アメリカ・コロラド州ボルダー
詳細は、[こちら](#)。

GBIF の Vision : 科学、社会及び持続可能な未来のために、生物多様性情報が全域で自由に利用可能な世界の実現を目指します。

GBIF 本部

Universitetsparken 15

DK-2100 Copenhagen Ø

Denmark

<http://www.gbif.org/>

GBIF の Mission : 生物多様性情報を提供する世界随一の情報発信源となると共に、環境と人類の福祉に役立つ賢明な解決策を提供することを目指します。

電話 : +45 35 32 14 70

Fax : +45 35 32 14 80

E-mail: info@gbif.org

過去の GBits ニュースレター・アーカイブ :

<http://www.gbif.org/communications/resources/newsletters/>